

## カンボジア

2017

## 通信 vol.16

カンボジア通信は河合塾  
グループの社会貢献活動  
「カンボジア教育支援活動」  
が発行する機関紙です。

## 活動報告

## 交流♡しました！

9月23日、さまざまな国際協力・交流のかたちを高校生・大学受験科生たちが知るきっかけとなるイベントとして「ソーシャル フェスタ in 河合塾」を開催しました。

ゲスト講演者に、ネパール発のナチュラル化粧品ブランドLalitpur(ラリトプール)代表、向田麻衣さんをお招きし、今につながるきっかけとなった高校在学中のネパールでのNGO参加体験やその後ネパール女性の雇用創出のため(株)Lalitpurを起業したことなどをお話いただきました。また、大学生が主体となってカンボジア・ミャンマー・インド・バングラディッシュなどで活躍する15団体に出展いただき、現地の様子や体験および支援活動を参加者に共有していただきました。参加者から「国際貢献に組みたい」「取り組んでいる大学生に会えて刺激的だった」という参加の感想をいただきました。これからも国際協力に触れる機会や数年後のキャリアモデルとなる方々との交流の場を提供していきたいと思えます。

国際ボランティアに参加した高校生による体験レポートもいただきました！  
「戦争さえなければ…」という等身大のレポートは心に響くものがありました。



## 活動報告

## 物資♡送りました！

12月9日、河合塾桜山オフィスで、支援物資の梱包作業を行いました。物資は、全国の河合塾校舎や教室で集められた文具やチョーク、全国の団体や個人の方から寄贈された文具やサッカーボールなど。各校舎で、あらかじめ仕分けしたため、効率よく作業が進みました。桜山では、文具を種類別に箱に詰め、ペンは実際に書けるかチェック。河合塾スタッフの他、河合塾cosmo名古屋校の塾生の皆さんが参加してくれました。今回の物資は62箱。12月29日名古屋港を出国し、1月12日カンボジア・シアヌークビル港に到着。その後トラックで「カンボジア-日本友好学園」に届けられました。

横浜校の新規移転に伴い、旧校舎で使用していた机と椅子約500組と可動式黒板1体を「カンボジア-日本友好学園」に送りました。横浜校は、年間乗降客数 世界5位(約8億2500万人)のターミナル駅である横浜駅に近く、東アジア主要港である横浜港にもアクセスがよい立地。3月13日横浜校を出発した物資は、3月27日3本のコンテナに積み込まれ出港、4月13日カンボジア・シアヌークビル港に到着。その後、トラックで、4月24日「カンボジア-日本友好学園」に到着しました。塾生に大切に使用していただいた机と椅子・黒板は、カンボジアの未来を育むために活用されます。そして河合塾と「カンボジア-日本友好学園」の想いを結ぶ架け橋となることでしょう。最後に、支援物資を提供してくださった方、仕分け業にご協力いただいた方々、輸送にご協力いただいた(株)フジトランスコーポレーション様とコクサイエアロマリン(株)様に改めて感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。



3月13日横浜校を出発 →4月13日カンボジア・シアヌークビル港到着 →トラックに積み込まれ陸路を走り →4月24日カンボジア-日本友好学園到着

# 海外の 事を知る

2018年2月、支援活動スタッフ2名は河合塾が支援する「カンボジア-日本友好学園」の物資活用状況やニーズ調査のため視察に行ってきました。河合塾の支援が一助となって素晴らしい学校づくりがされている現地の状況をレポートします。

## カンボジア-日本友好学園 について

カンボジア-日本友好学園は、カンボジア内戦時代に日本に難民として移住していたコン・ポーン氏が帰国後、未来の人材育成をしようと自ら私財を投げうって、1999年、農村地帯であるプレイベン州に設立した半官半民の学校です。生徒と地域のための学校をつくりたい！という熱いコン・ポーン氏の思いに共感し、河合塾は2000年より支援を継続して行っています。「物資支援を通して、『勉強してくださいね』という気持ちを河合塾からもらっていると感じている」との言葉をいただき、私たちの思いがしっかり伝わっていることを知りました。



7時の朝礼後。左は83歳になるコン・ポーン氏

TOPIC

### 1 生徒インタビュー！

聞いてみました！



英語の先生になりたい！

Qなぜカンボジア-日本友好学園へ？

- ▼授業時間が長いのが魅力。
- ▼教師が意欲的に指導。指導時間が他の学校より長いし、(授業開始の)時間を守ってくれる。
- ▼施設が整っている。他の学校よりもきれい。
- ▼母から勧められて入学試験を受けた。

Q将来の夢は？

- ▼7名中6名が「教師」、1名は「医者」でした。
- 実際に、学園の教師の中には、卒業生が数名いらっしゃいました。

TOPIC

### 2 卒業生の今！

こんな出会いも...



河合塾からもらった自転車で23km離れた自宅から通学していた話、河合塾理事長から地球儀をもらって本当に嬉しかった話、などたくさん聞かせていただきました。今では、彼らも自ら寄付をして大好きな学園を支えています。(写真は10年以上前、河合塾の招待で日本訪問をした卒業生です)

TOPIC

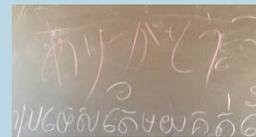
### 3 18年前に寄贈した河合塾の物資が今も大切に使われています！

日本の黒板・チョークに大絶賛！



#### 生徒たちの学びに欠かせない机・椅子

1581名が在籍する学園の全教室に、河合塾が寄贈した机・椅子が使われています。カンボジアでは、木製の長机をシェアして使うのが一般的だそう。なめらかな表面である日本製の机は、生徒にも教師にも重宝がられています！



「見やすい！」「書きやすい！」と大絶賛。中古のチョークもすべて、有難く使っているとお言葉をいただきました。

## 会計報告

### 支出

### 募金収入

2016年度 513,953 円  
2017年度 506,015 円

- <2016年度>
  - 教育支援物資(文具等)カンボジア国内輸送費 244,652円
- <2017年度>
  - ソーシャルフェスタ 向田麻衣さん講演料 100,864円
  - 教育支援物資(机・椅子等)海上輸送費等 1,434,305円

※2017年度3月期末残高2,433,226円は次期活動費にあてる。

## 引き続き支援物資を募集しています

ちょっと書いただけの使いかけのノートや、もう使わない鉛筆・ボールペンはありませんか？捨てるのは「もったいない」けど自分は使わないと感じたモノを提供してください。詳しくは下記HPまで。

河合塾 カンボジア

検索

<https://www.kawaijuku.jp/jp/sr/contribution/cambodia/>